

一志学園高校における新型コロナウイルス感染予防の取り組み

1. 生徒・教職員の健康管理

- ・毎朝健康チェック（検温・体調）を行い、ネット経由で学校に報告する。
- ・発熱や体調不良の場合は登校・勤務しないことを徹底する。

2. 校内における対応

（1）生徒への手洗い、手指の消毒の励行

- ① 登校時、昇降口で手指の消毒をさせる。
- ② 昼食前、パソコンの授業開始前に薬用せっけんでの手洗いを励行する。

（2）授業を行う上での注意事項

① 教室の換気

窓、出入り口を開けて授業を行う。空調を使用している場合でも授業の途中（50分授業なら25分経過）で出入り口と窓を開けて換気をする。

又、授業終了後、出入り口と窓を開ける。

② マスクの着用

- ・教員はマスクを着用して授業を行う。
- ・マスクを忘れた生徒には保健室にもらいに行くよう指示する。

③ 座席の配置

・当面の間、生徒の席の間に可能な限り距離を確保する。生徒同士のグループワークが最小限になるよう授業内容を工夫する。（授業人数が多くなりすぎないように、一部教室変更になっています。）

（3）多くの生徒が触れる場所や共用の教材、器具の消毒

- ・バスの消毒
- ・パソコンの消毒 一日の授業の終わりに消毒する。

（4）体調不良時の対応

- ・隔離できる部屋の確保

3. 登校時の対応

① スクールバスの分散乗車

- ・乗車するバスを指定し、乗車人数を定員の半数に抑える。

② 座席の分散

- ・座る座席を限定し、密集しないように配慮する。

③ 換気の徹底

- ・窓を開けるなど、換気を徹底する。